

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

6月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

2018.8.20 No.75

特集

図書&読み聞かせ
ボランティア
×
市議会



MENU

- 特集……………P 2
- こんな意見ができました……………P 4
- こんなことを審査・調査しました…P 6
- こんなことを聞きました……………P10
- Future……………P18

図書 & 読み聞かせ ボランティア × 市議会 (三島小学校)



本を読む楽しさを知り、 身近に感じてほしい

議員には市の細かいところ まで目を向けてほしい



「図書ボランティア」は、図書室の装飾、本の整理や修理などを行い、「読み聞かせボランティア」は、学校で子どもたちに本の読み聞かせを行っています。どちらも地域の皆さんや保護者の協力のもと行われています。

＜読み聞かせボランティアの活動についてお伺いします。＞

◆月に1回程度の読み聞かせの日に、8時15分から約15分間、読み聞かせを行っています。

＜読み聞かせを行っていく中で、学年によって反応に違いを感じることはありますか。＞

◆低学年の方が、素直な反応があります。驚いたり、喜んだりの反応は多いですが、高学年も高学年らしい反応をしてくれます。

＜本を読む練習はしますか。また、どのように本を選んでいきますか。＞

◆15分間という制限があるので下読みは必要です。7分間のお話を2つ読んだり、長いお話を15分間読んだり、皆さんしっかり練習して、時間を計って取り組んでいます。本を選ぶ際には、時期や季節にふさわしい本を選ぶ人、1年間のテーマを決めて選ぶ人、自分の好きな本を中心に選ぶ人もいて、それぞれ違うことが良い所もあると思います。

＜図書ボランティアをやっている、大変だと思ったことはありますか。＞

◆昼休みに多くの子どもたちが本を借りに来たり、返しに来たりします。パソコンが1台しかないので、処理が終わらず、昼休みが終わっても待ってもらわなければならないことがあります。せめてもう1台パソコンが欲しいです。

＜ボランティアの人数は13人とのことですが、足りていますか。＞

◆読み聞かせは、児童を少数に分けて行ったほうが、効果が大きい

ので、もっとたくさんのボランティアが必要です。

＜子どもたちからはどのような本のリクエストがありますか。＞

◆「おしり探偵」などがリクエストに上がっています。それと科学漫画「サバイバル」シリーズはいつも人気です。(本を見せながら)とても多く貸し出されているので、本の傷みも激しくて、何度修理してもバラバラになってしまいます。(笑)

＜子どもたちへ伝えたいメッセージをお願いします。＞

◆自分が大好きな本に出会うことができると、それが本を読むきっかけになると思います。本を身近に感じることで、大切な人生のヒントを得ることがあるかも知れません。たくさんの本に触れてください。

＜市議会議員に伝えたいことがあればお願いします。＞

◆図書と読み聞かせボランティアも含めて、元気な高齢者が活躍できる場を作ってほしいです。

こんな意見が出ました

第10回議会報告会(5月開催)の概要

3班体制で各班が共通テーマを決めて実施!

※参加された皆さんから出た意見・要望を以下に抜粋して紹介します

- ①各班(3班体制)が6会場で開催
- ②班のテーマに関して各班それぞれの手法で進行しました。
- ③皆さんからの意見をもとにして、行政への提言を進めていきます。



第1班テーマ “数字から見る協働のまち” 総務企画常任委員会

◆自治会加入促進のパンフレットを工夫して作ってほしい。

◆市民活動センターが出来たが、協働には仕掛けが大切。議員と市民団体の意見交換会等を行ってほしい。

◆将来の医療費コスト削減のためにも、高齢者が気軽に集える場所を増やすべき。

◆子どもの連絡網と自治会行事との連携がうまくいっていないので学校に協力してほしい。



◆自治会長連絡協議会と市長の懇談会を設置してほしい。

◆世帯数の多い自治会と少ない自治会があるため自治会の統合や分割を行うべき。

第2班テーマ “子どもの未来のために” 福祉教育常任委員会

◆保育士の職場環境が整っていないことが、保育士不足を招いている理由の一つになっている。

◆部活動に入っていない子どもや学校が休校になったときの子どもの居場所を考えてほしい。

◆黒磯図書館を児童館に、駅前図書館を学生が勉強する場所にしてほしい。

◆通学路に街灯が少ない。

◆スクールガードをより多く配置してほしい。



◆部活動がクラブ化してきており、真剣に部活動の在り方を考える時期に来ている。

◆スポーツ経験者に力を借りて、大人と子供が楽しめるスポーツ等を、学校を利用して普及できないか。

第3班テーマ “空き家等の対策について” 建設経済常任委員会

◆空き家になる原因を考えなければいけない。

◆区画整理地内(空き地)で、雑草等に特定外来生物(オオキンケイギク)が全面に生息してしまった場所がある。



◆所有者不明の土地・建物(税金が払われてない)は、行政が必要な処置が執行ができるように条例化すべきでは。

◆空き農地と空き家をセットにして利活用できないか。

◆自治会で空き家の状況を共有してほしい。

◆空き家を市民利用の場、子供の居場所、お年寄りの集まる場所として利活用できないか。



議会への意見・要望(抜粋)への回答

- Q. タイトルを議会報告会から意見交換会に変更した方がよいのでは。
 A. 議会報告会は、議会の報告を主に行ってききましたが、近年は、市民の意見を聞くために意見交換会の時間を多く取り入れています。
- Q. 議会報告会の回数を増やしたり、いろいろな施設で実施した方がよいと思う。
 A. 議会報告委員会では、提案していただいた内容を含めて、活性化に向けたあらゆる手法を検討しています。次回の参考にさせていただきます。
- Q. 意見交換会はテーマを絞ってもう少し時間を多くした方がよいと思う。
 A. 次回の参考にさせていただきます。



その他の意見

- ◆給食の無料化のようなばらまきの政策ではなく、子どもの心を育てる教育にお金を使ってほしい。
- ◆免許返納者に対するインセンティブの上乗せ希望。
- ◆免許証返納により買い物弱者が多くなるため、予約ワゴンバスやタクシーの活用をやすくしてほしい。
- ◆子どものために、地域の皆様が真剣に向き合っている様子が良く分かった。
- ◆親身になって意見を聞いてもらい大変嬉しく思った。
- ◆より良い那須塩原にするため、もっと現場の声を聞いてほしい。
- ◆親身になって答えてくれる議員と話ができてとても良かった。
- ◆「そんな事ムリだ」と思うようなことをどんどん提案してもらえる議会だと良い。
- ◆グループに分かれて、議員も入って自由に発言できたことは良かった。



たくさんの意見をありがとうございました。いただいた意見・要望は市議会ホームページへ掲載します。今後も創意工夫し議会報告会を行っていきますので、皆さんの参加をお待ちしています。

こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
【委員】◎齊藤誠之○吉成伸一、田村正宏、小島耕一、森本彰伸、鈴木伸彦、高久好一、君島一郎、玉野宏

東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情

意見① 東海第二発電所において、過酷事故が発生した場合、放出される放射性物質によって、栃木県内にも甚大な被害が及ぶおそれがあり、稼働から40年を超える危険な運転は、認めるべきではない。

意見② 陳情内容については、同感であるが、地方自治法第99条には「普通地方公共団体の議会は、国会又は関係行政庁に意見書を提出することができる。」と規定されている。意見書の提出先となっている、市や村は処分権限がある行政庁には当たらないこと、また、他の市や村に対し、意見書を送付することに疑念が残るため、不採択とすべき。

審査結果 「陳情第1号 東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情」は、賛成少数により「不採択とすべきもの」と決した。

※陳情の審査終了後、委員から市議会として、同趣旨の意見書を国の関係行政庁のみに提出する動議があり、採決した結果、全会一致で動議を可決した。

所管事務調査

6月13日、上厚崎地内に整備予定の黒磯消防署庁舎予定地を訪れ、建設箇所や道路の接続状況などを調査した。次に、那須塩原市消防団塩原支団第1分団第4部（門前地区）の消防詰所兼車庫を訪れ、計画どおりの機能が備わっているか調査した。最後に塩原温泉の配湯施設を訪れ、旅館などに配湯している施設の管理状況を調査したほか、今年度上塩原地内で予定している温泉管の工事箇所の現況を調査した。



上・中塩原温泉配湯施設

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎佐藤一則○星宏子、山形紀弘、相馬剛、平山武、大野恭男、金子哲也、山本はるひ、中村芳隆

那須塩原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童クラブの支援員となるための資格要件の明確化と拡大を行うもの。教育職員の免許を失効した者や、中卒者の補助員で5年以上放課後児童クラブの実務経験がある者で、市長が適当と認めた者について研修の受講資格を拡大するもの。

問 新たに加わる「5年以上従事」という要件について、支援員となる前は、どのような立場で従事する場合があるのか。

答 これまでも、資格を持った支援員を補助する補助員として勤めている人がいる。この条例の施行に伴い、補助員として5年以上勤務した人は、要件を満たすこととなり支援員への門戸が広がる。

所管事務調査

6月14日、国際医療福祉大学病院敷地内にある西那須野キッズハウスを訪れ、病児・病児後保育、休日保育について現地視察を行った。次に昨年度建設された、狩野公民館多目的ホールを訪れ、計画どおりの利用があるか調査した。次に、くろいそ運動場を訪れ、体育館、武道館、国体会場となるテニスコート整備予定地の状況確認と、野球場が計画どおり改修されたか調査を行った。最後にシニアセンターにおいて、施設の利用状況について調査を行った。



狩野公民館多目的ホール

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
【委員】◎松田寛人○齋藤寿一、中里康寛、星野健二、櫻田貴久、伊藤豊美、眞壁俊郎、相馬義一

那須塩原市地域公共交通再編計画について

ゆーバスなどの公共交通の具体的な運行経路などを再編する計画

問 那須塩原駅から佐野地区を經由して那須脳神経外科病院に行く路線は検討しなかったのか。

答 その地区は、ゆーバスが走っていないが、ゆーバスは、大きい車両のため、機能性を考えると、10月から導入する「ゆータク」が経済的である。

問 予約ワゴンバスに代わる「ゆータク」について、予約ワゴンバスとの経費の比較を伺う。

答 予約ワゴンバスにかかる経費の約6割強で済むと見込んでいる。

問 予約ワゴンバスだと時間的な制限などがあると思うが、「ゆータク」は、タクシーの形を採用するため、予約が多い場合には同時に2、3台走ってもらうことは可能か伺う。

答 予約ワゴンバスは、1台の車両で運用しているため、制限があった。「ゆータク」は、予約が多い場合には、複数台で走ってもらう。

管内事務調査

5月15日、那須塩原市建設業協会と意見交換会を行い、県道と市道の管理区分により、道路の除雪や災害時の対応がスムーズに進まないなどの事例紹介のほか、建設業界における、労働者の高齢化問題など、多くの課題について意見交換した。

6月13日の現地視察は、塩原堆肥センター、八郎ヶ原放牧場を訪れ施設の利用状況を確認し、もみじ谷大吊橋にあるハナモモの植栽箇所を視察した。



塩原堆肥センター

予算常任委員会

【委員】◎齊藤誠之 ○佐藤一則 ○松田寛人、その他全議員

平成30年度那須塩原市一般会計補正予算

問 国の補助事業を活用し、カウンセラーを配置する経費が計上されているが、国の補助制度はいつまで継続する見込みなのか。

答 今年度で終わりになる可能性がある。

問 都市公園等長寿命化事業費の工事請負費、黒磯公園施設更新の内容は。

答 黒磯公園の東側斜面に群生するカタクリや野生の花々を観覧できる園地を整備する。

問 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業費の効果促進検討業務の委託内容を伺う。

答 現在黒磯駅前に整備している施設が、効果を発揮するための調査検討を行うものである。具体的には、今後黒磯駅前で、どのようなイベントや事業を行った方が良いか、専門家を招へいして検討する業務である。

問 都市再生整備計画事業効果促進検討業務に関する経費1,300万円の内容を伺う。

答 整備施設の活用検討で85万円、整備施設の効果分析で130万円、周辺施設との連携検討で75万円、

既存ストック活用検討で90万円。まちづくり活動支援業務、地元で活躍されている人との連携、ワークショップの実施で50万円、専門家派遣で80万円、まちづくりPR検討で100万円、そのPRイベントで120万円。その他諸経費、消費税がかかり最終的に1,300万円となっている。

平成30年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算

問 デザインマンホール蓋を2カ所設置するとのことだが場所を伺う。

答 塩原温泉街の門前交流広場と板室温泉街の一番奥にある旅館付近を予定している。

問 デザインマンホールを導入する目的は。

答 下水道の普及活動とPRを目的として導入する。

問 デザインマンホール蓋設置の予算の内訳は。

答 蓋1枚当たり、デザイン料36万円、型の費用20万円、工事費50万円の、合わせて106万9,200円かかる。予算は、2枚分である。

陳情の審査結果

No.	受理年月日	件名	請願者住所・氏名	結果
1	H30.5.21 (第1号)	東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情	〒329-2756 那須塩原市西三島3丁目183-524 さようなら原発栃木県北連絡会 代表 高嶋 幸雄他 20名	不採択

意見書を提出

他の市や村などへの意見書の送付を求める「陳情第1号 東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情」は、採決の結果全会一致で不採択となりましたが、議会として国の関係行政庁のみ同趣旨の意見書を提出する「発議第3号 東海第二発電所の稼働延長を認めない意見書の提出について」を提案しました。採決の結果、全会一致で可決し、経済産業大臣と原子力規制委員会委員長あてに意見書を提出しました。

―意見書の趣旨―

那須塩原市は、福島第一原発事故により、甚大な被害を受け、未だに、放射能対策事業が行われています。また、福島第一原発から110キロ圏内、東海第二発電所(茨城県那珂郡東海村)からは90キロ圏内に位置し、仮に、東海第二発電所が再稼働し、過酷事故が発生し高濃度の放射性物質が流出、飛散した場合には、これまで以上の甚大な被害を受ける可能性があります。

多くの市民の不安を取り除くためにも、東海第二発電所は、運転中止状態のまま廃炉にするべきであり、稼働延長は認められるべきではないとの本意見書の趣旨に沿った対応を強く要望するものです。

※意見書…議会としての意思を、意見や要望としてまとめた文書のことです。地方公共団体の議会は、地方自治法第99条に基づき、自ら団体の公益に関する事件に関して「意見書」を国会などに提出できます。

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告・承認案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 4号	那須塩原市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意第 5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第56号	平成30年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第57号	平成30年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第58号	那須塩原市体育施設条例の一部改正について	可決
議案第59号	那須塩原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第60号	那須塩原市まちなか交流センター条例の一部改正について	可決
議案第61号	那須塩原市第2期最終処分場施設整備基本計画について	可決
議案第62号	那須塩原市地域公共交通再編計画について	可決
議案第63号	平成30年度那須塩原市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第64号	那須塩原市税条例の一部改正について	可決
議案第65号	契約の締結について	可決
議案第66号	契約の締結について	可決
議案第67号	契約の締結について	可決
発議第 3号	東海第二発電所の稼働延長を認めない意見書の提出について	可決
発議第 4号	議員の派遣について	可決

INFORMATION

インターネット録画映像配信中！

各議員の質問内容は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。

本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。

※録画映像は、会議当日より1週間経過後から見るすることができます。

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。公式記録は会議録でご確認ください。

【6月定例会インターネット中継アクセス数 1,594件】

[那須塩原市議会](#) [議会中継](#) [検索](#)

会議録検索システム稼働中！

会議録検索システムを使うと、本会議における発言内容を、「開催年」、「キーワード」、「発言者」などで簡単に見つけ出すことができます。

市議会ホームページから、ぜひご利用ください。

[那須塩原市議会](#) [会議録](#) [検索](#)

請願・陳情の提出方法

市民の皆さんが市政について、直接市議会に要望できる制度が請願と陳情です。議員の紹介があるものは請願、ないものは陳情となります。

請願と陳情は、所管の委員会において審査された後、本会議で採択または不採択の決定を行います。

市議会では年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会が開催されています。

議会運営委員会が開催される3日前（市の休日の日はその前日）までに受理したものを、委員会に諮り、その定例会中の委員会で審議されます。

請願・陳情の提出方法

- あて先（那須塩原市議会議長あて）、提出年月日、趣旨および理由などを簡潔に書いてください。
- 住所・氏名を記入し押印してください。
- 請願を提出する場合は、紹介議員（那須塩原市議会議員）の記名と押印が必要です。
- 請願・陳情者が多数のときは代表者を決めてください。この場合、代表者以外は署名簿に住所・氏名を記載し提出してください。
- 必要により資料を添付してください。
- 郵送による提出の場合、議長預かりとなります。

請願(陳情)内容
(趣旨、理由を書いてください)

平成 年 月 日

那須塩原市議会議長あて
〇〇に関する請願(陳情)

紹介議員 _____ 印
(陳情の場合、紹介議員は必要ありません)

請願(陳情)者
住所 _____
氏名 _____ 印 姓 名 _____

署名簿

1	姓 名	住所
2	_____	_____
3	_____	_____
4	_____	_____
5	_____	_____
6	_____	_____
7	_____	_____



佐藤 一則議員



子育て環境の充実について

問 待機児童の現状と解消対策について伺う。

答 市長 平成30年4月1日現在で4人。対策は保育施設の整備を推進し、定員の拡大を図る。

問 保育の質の向上に向けた職場での取り組みや職員に対する取り組みについて伺う。

答 市長 市が策定した保育の質向上のためのアクションプログラムに基づき、自己評価と第三者評価を実施し、指摘事項の改善を行っている。

問 公設民営児童クラブの整備予定について伺う。

答 市長 平成30年度は大原間小、鍋掛小。平成31年度は関谷小、高林小、東小の整備を予定している。今後、青木小が考えられる。

問 児童虐待防止の取組内容について伺う。

答 市長 養育支援を必要とする家庭を早期に把握し、出産前後の時期に家庭訪問を実施している。また、乳幼児健康診査などでの観察や、幼稚園、保育園、学校などにおける子どもの様子の変化を注視し、養育環境の把握に努めているほか、電話相談や窓口相談も行っている。

学校教育環境の整備について

問 通学路の安全対策の内容について伺う。

答 教育部長 昨年度で198カ所の危険箇所があり、道路管理者や警察署の関係機関が危険箇所の解消に向けた取り組みについて検討している。

問 児童・生徒の登下校時の安全対策の内容について伺う。

答 教育部長 家庭や地域と連携し、大人が連れ添っての下校、巡回パトロール、安全マップの作成、防犯ブザーを活用した緊急時対応の指導を行うなど、基本的に1人で登下校させないことで安全を確保している。



星 宏子議員



子どもの人工内耳^{*}対外機^{*}買い替え時の助成について

問 子どもの人工内耳^{*}対外機^{*}買い替え時の助成について伺う。

答 市長 現在、子どもの人工内耳^{*}対外機^{*}買い替え時の助成は行ってない。県内では日光市と栃木市で助成を行っているが、これまでに助成の実績はないと聞いている。今後は人工内耳^{*}装用者のニーズや、県と県内自治体の動向などを見極めながら調査研究を行う。

プログラミング教育について

問 2020年に本格始動するプログラミング教育について、自信を持って指導できる教員の割合を100%とするための課題は何か。

答 教育長 本市はICT機器の整備が進んでいるため、先生が触れる機会が多くあり、良い結果が出ている。プログラミング教育を進めるに当たっては、対象単元などを洗い出し、指導計画等を検討する段階に入るので、今後、力を入れていく。ただ、プログラミング教育という言葉が一人歩きし、プログラムをつくるのが目的になりかねないが、そうではないということもしっかりと踏まえて、教員の研修に当たっていく。

※人工内耳とは、手術で内耳の蝸牛に細い電極を植え込み、聴神経を電氣的に刺激して、それを脳に伝えて聴覚を取り戻す医療。耳にかけたマイクから音を拾って、スピーチプロセッサという機器で音を電気信号にかえ、内耳の電極に無線で送るもの。



山本 はるひ議員



市単独補助金に共通のガイドライン策定

問 216件ある市単独補助金見直しの進め方、審査のメンバー、スケジュールを伺う。

答 総務部長 統一的な交付基準、ガイドラインを定め、現在、要綱のない補助金は、それをもとに各課で個別の要綱を作成する。これまで、監査委員から補助金ごとに要綱を作成するよう指摘がたびたびあった。審査のメンバーは利害関係のない、専門的な知識を持った人に絞りたい。ガイドラインで基本的な考え方を示し、各課に周知して要綱に盛り込み、見直しに入る。

問 補助金のガイドラインの内容は。

答 総務部長 平成23年12月の見直しで提言^{*}を受けた部分をすべて盛り込んだものとしていく。

問 見直し結果の取り扱いについて伺う。

答 市長 見直し結果が出た段階で、補助金交付団体などへの周知や改善等をお願いするとともに、次年度以降の予算編成に反映する。見直し結果はホームページで公表する予定である。

問 市民や市民団体などへの補助金制度の周知方法について共通のルールがあるか。

答 市長 共通ルールがないので、見直しの中で検討したい。

問 情報提供として補助金をホームページや広報紙に載せることはできるか。

答 総務部長 団体がどのくらいの補助金をもらっているかということは、市民も関心のあることだと思うので、公開できるかどうか検討したい。

※平成23年12月提言内容 今後の課題（抜粋）

- ① 交付期限・見直し時期の設定
- ② 繰越金・余剰金等への対応
- ③ 類似団体に対する補助金等の整理統合
- ④ 補助目的の明確化
- ⑤ 補助金から他費目への組換えの検討
- ⑥ 補助による効果・成果報告の検討



相馬 剛議員



市有墓地の管理と整備について

問 市有墓地使用者の把握状況、区画の確定状況、管理料徴収の計画、景観整備と設備整備の考え、使用者不明区画の利用権の取り扱いは。

答 生活環境部長 市有墓地の把握状況は永田・二つ室・二区・上赤田・西赤田・三島1号の総区画数は1,380で、使用中が1,181、返還区画が59、使用者の判明率は89.9%。調査済みの6カ所は測量図と区画図を作成した。平成30年度に三島2号、3号の調査を行い31年度に使用者に対して説明会を開催し管理料を徴収したい。景観整備と設備整備は、説明会で使用者の意向を確認の上検討するが、管理料は市営墓地の金額とのバランスを考え検討する。景観整備は共用部分の清掃、除草は管理料で賄い、赤田霊園に追いつく形で考える。設備整備は、必要性和優先順位など基準を設け整備を行いたい。不明区画の取り扱いは、市有墓地条例により、連絡を求める看板設置から10年連絡がなかった場合、縁故者が無いものとして使用権は消滅する。

不妊治療費助成金事業の拡大を求める

問 不妊治療費助成金は、保険適用外の不妊治療費を対象に年1回30万円を限度に通算5回、経費の2分の1を助成する内容で、予算は、2,500万円となっている。少子化対策として助成額と回数の拡大についての考えを伺う。

答 保健福祉部長 市の補助金30万円に加えて、国の助成が30万円あり、合計60万円と手厚く助成している。今後この事業をPRして、拡大に努める。





山形 紀弘議員



本市の消防団について

- 問 消防団協力事業所表示制度の進捗状況を伺う。
- 答 市長 今年3月に本制度を導入し、協力事業所の募集を開始した。申請のあった3社について認定を行ったところで、今後もさらに制度の周知を図り、より多くの事業所等の理解を得られるよう努めていく。
- 問 消防団員応援制度を導入することで団員確保につながると考えられるが、所感を伺う。
- 答 市長 今年度、県が消防団応援の店制度を導入することから、より広域的な効果が期待できる県の事業に協力していきたい。
- 問 消防団員の処遇改善を行うため、報酬や手当などを今後引き上げていく考えがあるのか。
- 答 総務部長 報酬手当額については、県内の各市の動向を注視し、今後検討していきたい。
- 問 消防団員の高齢化などが進んでいるが、部の統廃合はどのように考えているのか伺う。
- 答 総務部長 地元の消防団、自治会の意向が重要だと考える。市としてどのようなことが出来るか協力や相談をしていきたい。

障害者等専用駐車場について

- 問 市有施設における障害者等専用駐車場の現況と課題を伺う。
- 答 保健福祉部長 現在56施設で116台分を設置している。課題は、未設置の施設があること、駐車スペースの幅が基準を満たしていないものがあること、健常者による不適切な利用があることと考えている。



田村 正宏議員



持続可能で魅力的なまちづくりについて

- 問 東京一極集中と地方創生は、昭和から平成にかけて政治課題として認識されるようになったが、長寿化、人口減少が地方にとってより深刻な課題として具現化している。本市の目指す多極ネットワーク型コンパクトシティの概要と取り組みを進めるうえでの課題について伺う。
- 答 建設部長 立地適正化計画は、急激な人口減少と超高齢化社会に備え、住居や店舗などを定められたエリアに誘導し集約することで、行政コストを軽減させた効率的な都市構造への転換を図るものである。課題は、誘導を促すためのインセンティブをどのように設けるかである。
- 問 誘導区域内において、空き家・空き地・所有者不明土地対策やバリアフリー化を優先的に進めることで、住みやすさが向上し、都市の集約に寄与すると思うが所感を伺う。
- 答 建設部長 空き家対策は、都市機能や居住誘導の促進につながるものと考えている。また、誘導区域内の道路や建物を安全・安心に利用できることは大変重要であり、バリアフリー化が必要である。
- 問 まちの魅力を高められるかは、ソフト・ハード両面にわたり、いかに民間活力を導入できるかにかかっている。一昨年、足利銀行と締結した「地方創生に関する連携協定」による成果と進捗について伺う。
- 答 企画部長 「アートを活かしたまちづくり」や「ミルクタウン戦略」の策定への協力、足利銀行黒磯支店における観光ブースの設置、住宅ローンなどの特別利率の設定などを行っている。



小島 耕一議員



道路整備の計画について

- 問 都市計画道路、西那須野中央通りは、昭和40年に計画され、50年が経過し、改良率は64.32%になっている。今後10年間の道路整備計画で取り組む予定があるか伺う。
 - 答 建設部長 昨年議決をいただいた第2次道路整備基本計画に入っていないため、今後10年間で道路整備を行う予定はない。
- 圃場整備と道路整備の一体的なインフラ整備の推進について
- 問 佐野・三本木地区と大田原市の練貫地区で圃場整備を行う予定がある。大田原市では圃場整備と道路整備を一体的に推進する方針と聞いているが、大田原市とどのように連携するのか伺う。
 - 答 建設部長 大田原市に新たな道路整備の構想については図面を確認している。しかし、本市の第2次道路整備基本計画に入っておらず、連携することは難しいと考えている。
 - 問 東那須野東通りの整備には50億円という大きな経費が掛かることから、県道への昇格が必要である。東那須野東通りの延長線上には圃場整備予定の三本木地区、練貫地区があり本市と大田原市が連携して県道昇格を要望してはどうか。
 - 答 市長 本市としては、県道東小屋黒羽線の延伸、始点の振替について県に要望している。今後、県大田原土木事務所と勉強会を開く予定であり、十分な意見交換をしていきたい。



中里 康寛議員



市の魅力を創出する産業団地造成事業について

- 問 用地造成から販売までのスケジュールを伺う。
- 答 市長 30年度に設計、関係法令による協議、許認可取得作業を進め、31年度に工事着手、工事完了後に販売というスケジュールである。
- 問 本市にはどのような特色があるか、また、どのような営業体制で誘致に当たるのか伺う。
- 答 産業観光部長 首都圏や東北圏への交通アクセスの優位性、災害の少ない優れた立地環境を企業にPRしていきたい。営業体制は、商工観光課を中心に考えている。また、県との強固な連携を有効に活用するとともに、金融機関などとの連携を図りながら、企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。

持続可能な生活排水処理事業について

- 問 下水道使用料改定の考え方について伺う。
- 答 上下水道部長 今回の改定は、地区ごとに異なっている使用料を統一するとともに、使用料の水準を見直すことにより、市民間の公平性を確保し、下水道事業経営の健全化を図るものである。
- 問 企業債の借り換えによる公債費削減について、実際にいくら程度を削減できたか伺う。
- 答 上下水道部長 平成19年度から平成21年度までの3年間と平成25年度において、合計約45億円の借り換えを行った。借り換えによる公債費利子の削減額は、約12億円である。
- 問 農業集落排水施設は、30年度または31年度に下水道へ編入する予定はあるのか伺う。
- 答 上下水道部長 南赤田地区の農業集落排水を30年度に公共下水道へ編入する予定である。





吉成 伸一議員



本市農業の可能性と農地活用について

問本市農業の可能性と新規就農者に対する本市独自の支援策について伺う。

答産業観光部長 本市の農業産出額は、367億円で、県内第1位、全国でも第19位となっており、産地として高い評価を受けている。担い手の高齢化等の課題はあるが、本市農業の将来は、より一層の発展が期待できると考えている。本市独自の支援策は、新規農業者の確保・育成が重要であると認識しているため、若い世代の就農のきっかけづくりとなるようシルバーファーマー制度の年齢要件を廃止し、チャレンジファーマー事業としてリニューアルした。農業関係団体や農業者と連携・協力し、本市独自の農業研修制度の確立に取り組んでいく。

問農地と空き家をセットにした「農地付き空き家」に対する考え方を伺う。

答産業観光部長 本市にふさわしい農地付き空き家制度の在り方を関係機関と連携し検討していきたい。

那須塩原駅前再開発と周辺の道路整備について

問区画整理地内の交通安全対策、市道上厚崎前弥六線の交通量および今後の渋滞緩和策を伺う。

答市長 交通量の多い交差点などでは、信号機の点滅周期の見直しや新規設置の要望を那須塩原警察署に要望している。上厚崎前弥六線の平成27年の昼間12時間あたりの自動車交通量は平成17年より867台増加し8,500台であった。今後の上厚崎前弥六線の渋滞緩和策として、黒磯那須北線の整備が最も効果的と考えている。



齊藤 誠之議員



本市の文化活動の振興について

問市民の個性豊かな創造性に富んだ文化活動の振興を図るためには、一定の財源が必要となってくる。これまでの予算水準もいつまでも続くとは思えず、将来性に乏しく、危機感を募らせている。今後は、文化振興に関わる財源基盤の安定を図るために、行政のみならず市民や企業の協賛もいただき、行政と市民と民間が一体となって文化活動の振興を支援できる体制を明確にするため、新たに文化振興基金を設立してはどうか。

答教育長 文化振興に関わる新たな文化振興基金を設立し、市民が取り組む個性豊かな創造性に満ちた文化活動を支援することは、本市の生涯学習及び文化振興を推進する上で重要なことであると考えている。また、行政のみならず、市民や企業が一体となり、オール那須塩原として文化振興を支援することは、大変意義があることから文化振興基金の設立については、その規模や資金の調達手段、運用方法などについて今後研究したいと考えている。

幼稚園および保育園から小学校への円滑な接続について

問幼稚園および保育園と小学校の連携の状況について伺う。

答教育長 幼稚園および保育園と小学校の連携については、各小学校区において、次年度入学の園児が小学校の行事や授業に参加し交流を図るなど、入学に向けて園児の不安を低減させ、期待を高められるような取り組みを行っている。



星野 健二議員



防災意識の向上と避難所対策について

問防災士の現状と今後の育成について伺う。

答総務部長 防災士の資格取得者は、平成29年度までの5年間で389人となっており、今年度も60人の防災士の養成を予定している。また、平成27年度からは、防災士資格取得者を対象とした講演会や図上訓練などのフォローアップ研修を実施し、さらなるスキルアップを図っている。

問避難所にマンホールトイレを設置する考えはあるか。

答総務部長 マンホールトイレは、水洗トイレに近い環境が確保でき、比較的衛生的という特徴があるが、下水道施設が被災した場合には使用できないため、現在のところ設置する考えはない。

問大規模災害発生時に、市職員も一斉に災害の対応に追われるが避難所は運営できるのか。

答保健福祉部長 避難所を公民館単位の15エリアに分け、あらかじめ保健福祉部と子ども未来部の職員を中心に各避難所に10人前後配置している。連絡網の整備も行っており、円滑に避難所が開設、運営できる体制を整えている。

墓地管理の仕組み構築について

問墓守サービスについて、高齢者の新たな就業の場やソーシャルファームなどを視野に入れながら行政が行ってはどうか。

答生活環境部長 墓守の代行サービスは、市が紹介して、シルバー人材センターが行うことができることは確認している。また、大田原市では、社会福祉協議会が実施しているということもあり、今後研究していきたい。



森本 彰伸議員



マイナンバーカードの推進と活用

問マイナンバーカードを持つことによる利用者のメリット、行政上のメリット、これからの可能性をどのように考えるのか。

答市長 利用者の主なメリットは、行政手続を行う際の利便性の向上、児童手当の申請などにおいて必要となる課税証明書や住民票の写しといった書類の添付が不要になることである。行政上の主なメリットは、一定の事務についてマイナンバーによる情報連携ができるため、事務が効率化されることである。これからの可能性は、マイナンバーカードのICチップの空きスペースの活用が挙げられる。図書館を初めとする公共施設の利用者カードの一元化や電子申請等の取り組みが一部の自治体で始まっているほか、クレジットカードのポイントやマイレージの活用など民間の事業所との連携についても検討が進められている。

ドメスティック・バイオレンス（DV）対策

問DV被害者を早期に発見し、各関係機関と連携した相談体制をつくるため、配偶者暴力相談支援センターの設置が望まれるが、具体的検討状況を伺う。

答市長 平成29年3月に策定した「第2次那須塩原市配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画」の中で、「配偶者暴力相談支援センターの設置を検討します」としていることから、今年度は、他市との情報交換の場を設ける予定である。また、先進地視察や県との連携なども含め、引き続き情報収集や調査研究を行い、設置のあり方について検討していきたい。





櫻田 貴久議員



観光行政について

問 積極的な改革に取り組む旅館や家族経営の旅館を支援するための今年度の市の取り組みを伺う。

答 産業観光部長 本市の観光戦略は、本市の温泉地に多い小規模旅館を中心に考えている。観光局を中心に取り組んでいる食のキャンペーンや季節の宿泊プランについては、テーマを統一して地域としてのブランド化を図りながら、食事や特典などで各旅館のオリジナリティや創意工夫が生かせる取り組みであり、今年度も継続して取り組んでいる。

問 本市のデスティネーションキャンペーン※の取り組みについての現時点での反響は。

答 産業観光部長 地元食に着目した市独自キャンペーンは、お客様からの評判もよく、パンフレットの配布状況も好調であるという話を聞いている。また、首都圏のJR各駅構内やびゅうプラザにおいて本市のポスターなどが多く掲示されている現状から、栃木県の中でも本市の取り組みが評価されているものと感じている。

那須塩原市のブランド力について

問 那須塩原市の魅力と聞いて思い浮かぶものは。

答 市長 豊かな自然や良質な農産物、日常生活や交通の利便性、バランスのとれた産業構造など、本市は、多様で豊富な魅力、地域資源を有していると考えている。加えて、日本遺産に認定された那須野が原の開拓の歴史は、先人が綿々と築き上げてきた本市の誇るべき魅力であると認識している。



※デスティネーションキャンペーン(DC)…JRグループ6社と地域が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーン。



高久 好一議員



介護保険について

問 要支援者1、2向けの訪問介護・通所介護が保険から外され、市町村が担う「総合事業」になって1年が経過した。総合事業からの撤退や廃止をする事業者が報道されているが、市内の「みなし指定」の更新結果を聞かせて欲しい。

答 市長 総合事業の「みなし指定」満了による指定更新を受けた事業者は、訪問介護で17件中10件、通所介護で42件中37件となっている。

問 全国の大手事業者が廃止や撤退を大幅に進めるなか、本市で撤退などが少なかった要因は。

答 保健福祉部長 撤退したのは訪問介護で7事業所、通所介護で5事業所となっている。本市では大手の参入がなく、撤退した事業者は、3月時点で利用者がいなかったのが理由で、利用者がいた事業所は申請を行った。

問 国は、特別養護老人ホームの入所対象を要介護3以上と制限したが、本市に193人いる入所待機者対策を聞かせて欲しい。

答 市長 現在特別養護老人ホーム1施設50床の建設を進めている。今後さらに、第7期高齢者福祉計画に基づく特別養護老人ホーム1施設50床の整備を促進し、入所待機者の対応を図っていく。

読書通帳について

問 読書通帳の現状と、子どもと保護者の反応は。

答 教育部長 読書通帳は、試行期間も含めて1,457冊配布し、1カ月の平均読書数の増加を目標に掲げている。子どもだけでなく、保護者からも通帳の更新を目指して頑張ることができると喜ばれている。



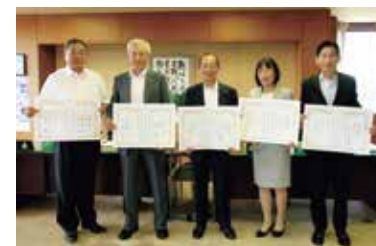
市議会レポート①

全国市議会議長会から表彰

市議会議長として4年在職した議員2人と市議会議員として15年在職した議員5人に対し、全国市議会議長会から、市政の振興に貢献したことにより、表彰状が贈られました。



議長在職4年表彰を受けた2人。左から君島一郎議員、中村芳隆議員



議員在籍15年の表彰を受けた5人。左から相馬義一議員、玉野宏議員、金子哲也議員、山本はるひ議員、中村芳隆議員

市議会レポート②

平成30年7月豪雨被害へ義援金

那須塩原市議会議員互助会は、平成30年7月豪雨被害の被災地支援のため、全国市議会議長会を通じて義援金30万円を送金しました。

市議会レポート③

姉妹都市の新座市と交流を深める

7月3日、4日、姉妹都市である埼玉県新座市議会議員21人と並木傑新座市長が、本市を訪れ、交流を深めました。



市議会レポート④

放射能と健康について学ぶ

7月2日市役所本庁舎において相馬中央病院内科医の坪倉正治氏による『放射線災害における健康被害など』をテーマに講演会開催しました。議員と市職員約40人が参加し、福島原発事故の影響による、健康被害の可能性について説明を受けました。

また、原発事故発生時の避難は、高齢者と若年層では避難の在り方が異なるため、対策を考える必要があるなど、分かりやすく解説していただきました。



市議会レポート⑤

須賀川市役所を視察

6月22日、昨年3月に完成した須賀川市役所を訪問し、議会フロアを中心に視察を行いました。

須賀川市役所は、東日本大震災の教訓を生かし、①防災拠点となる安全安心な庁舎②市民に開かれた利用しやすい庁舎③環境にやさしい庁舎④機能性・柔軟性を重視した庁舎⑤須賀川を象徴する庁舎の5つの基本理念で建設されたとの説明を受けました。



Future

～わたしの夢～ No.4

黒羽高校1年（東那須野中学校出身）

たなせ けいた
棚瀬 敬太さん

将来の夢はプロの津軽三味線奏者

祖母が三味線と踊りの先生だったことから、三味線には小さい時から興味がありました。親戚に誘われ、小学校2年生から、今の教室で津軽三味線を習っています。津軽三味線は、他の三味線と違って打楽器的な要素があり、体力も非常に使うので『和のスポーツ』という感じがするところが一番の魅力です。また、演奏会で聴いてくれた方が感動してくれたときは、自分もやる気が出るし、また聴かせてあげたいと思います。目標は、来年5月に青森県で行われる世界大会の個人B級での優勝です。将来は、プロの津軽三味線奏者となり、津軽三味線を世界へ伝え、後輩の育成にも力を注いでいきたいと思っています。



このQRコードを携帯電話などで読み込むと、棚瀬さんの三味線の演奏を聞くことができます。

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
8/26 総合 防災訓練	27	28	29	30	31	9/1
2	3	4	5	6	7 10時～ 議会開会	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	10/1	2	3	4	5	6

議会を読もう

議会だより「ぎかいのひととき」は1月、2月、5月、8月、11月に発行します。

議会を見学しよう

皆さんの傍聴をお待ちしております。定例会は、3月、6月、9月、12月に開催します。

議会を動画で見よう

本会議は、インターネットで配信しています。

議会に参加しよう

議会に対して陳情などを提出することができます。陳情とは市民の皆さんが市政について、直接市議会に要望できる制度です。



議会関係の視察件数

(平成30年5月～7月)

行政視察(議会関係)で本市を訪れた自治体を紹介します。

No.	日にち	来訪者	視察項目
1	7/26	富山県砺波市議会	議会における情報提供、住民参加、機能強化の取組等について

編集後記

季節は、夏真っ盛り！毎日、寝苦しい日が続いております。市民の皆様には、くれぐれもご自愛下さい。さて、今年の改選以降、新たな編集委員会が始まり、2年目に入りました。今後も市民の皆様の手にとって、読んでいただけるような、読みやすい議会広報誌に編集委員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。(中里康寛)